

少年事件の現状

警視庁生活安全部 少年事件課・少年育成課

① 少年事件の減少について

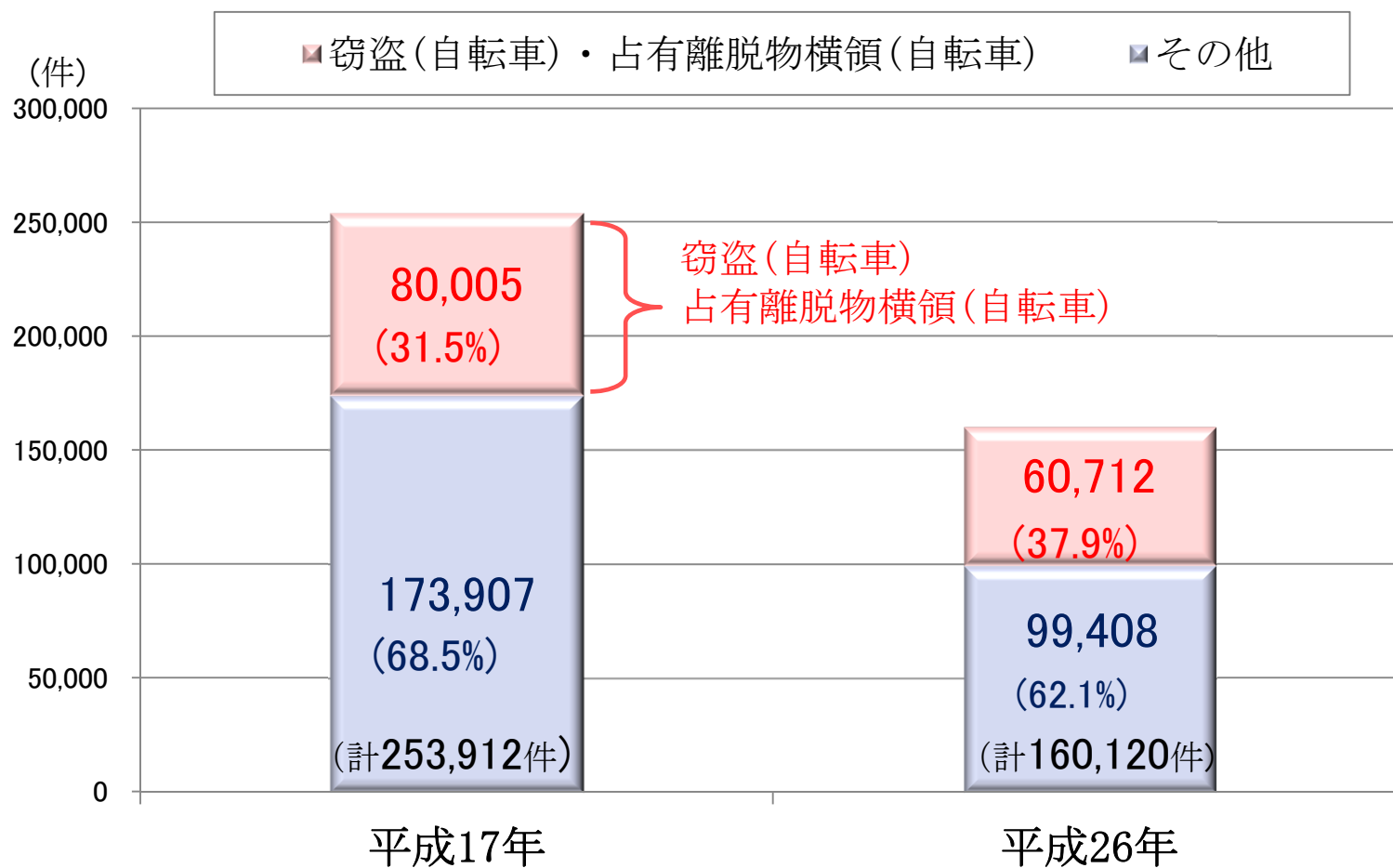
～ 刑法犯認知件数・検挙人員の推移 ～



②-1 少年事件の減少について

認知

～認知件数と自転車盗等～

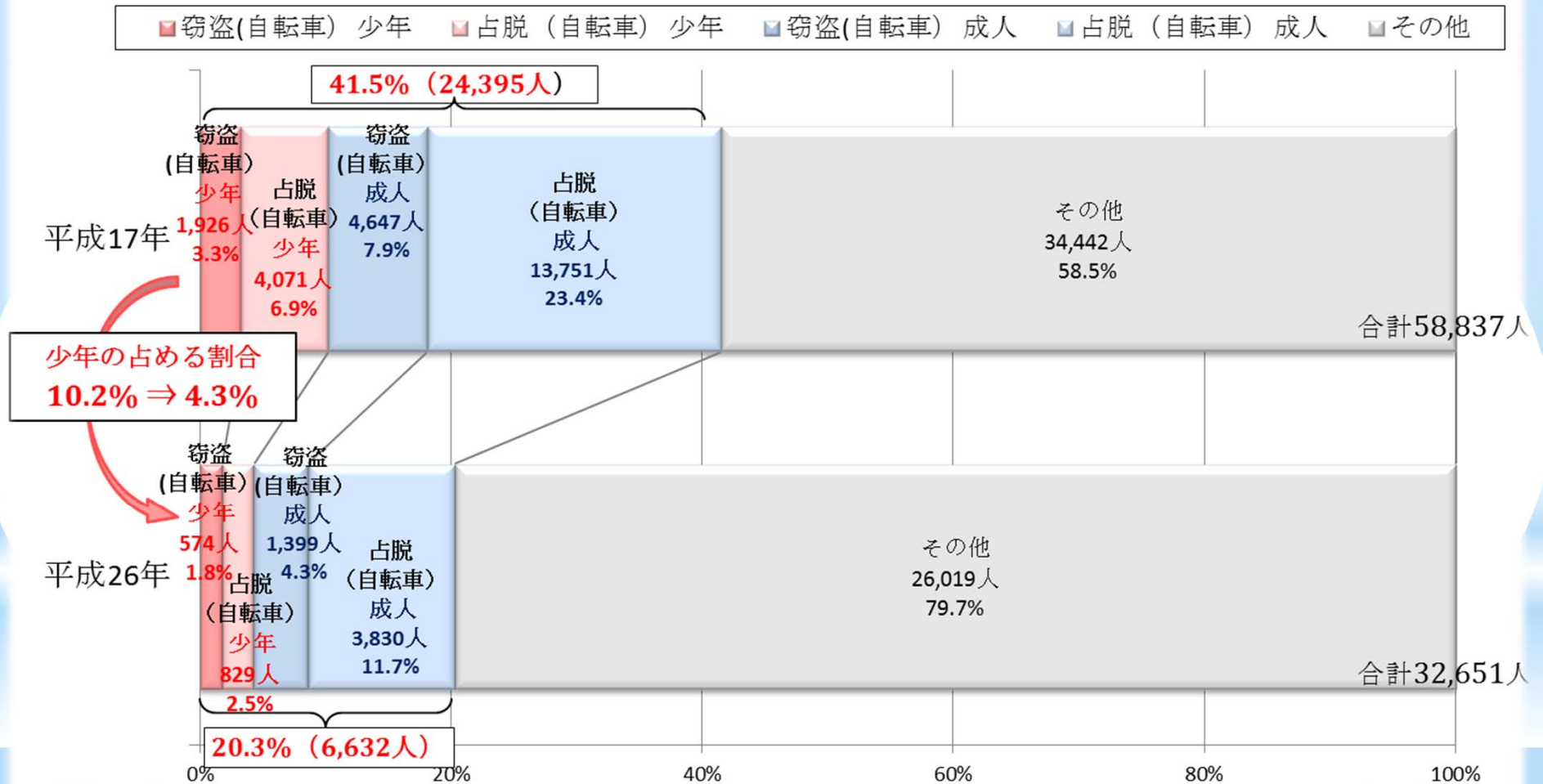


※ 自転車関連事犯は高い割合を占める

②-2 少年事件の減少について

検挙

～ 刑法犯検挙人員に占める自転車盗など ～



③ 少年事件の減少について

- 東京都安全安心まちづくり条例(H15)
- 少年事件捜査員の大幅増強(非特隊H15)
《非行集団等検挙解体対策本部(H16)》
- スクールサポーター制度(H16)
- 少年補導員制度の強化(H18)
- 継続的な盛り場総合対策

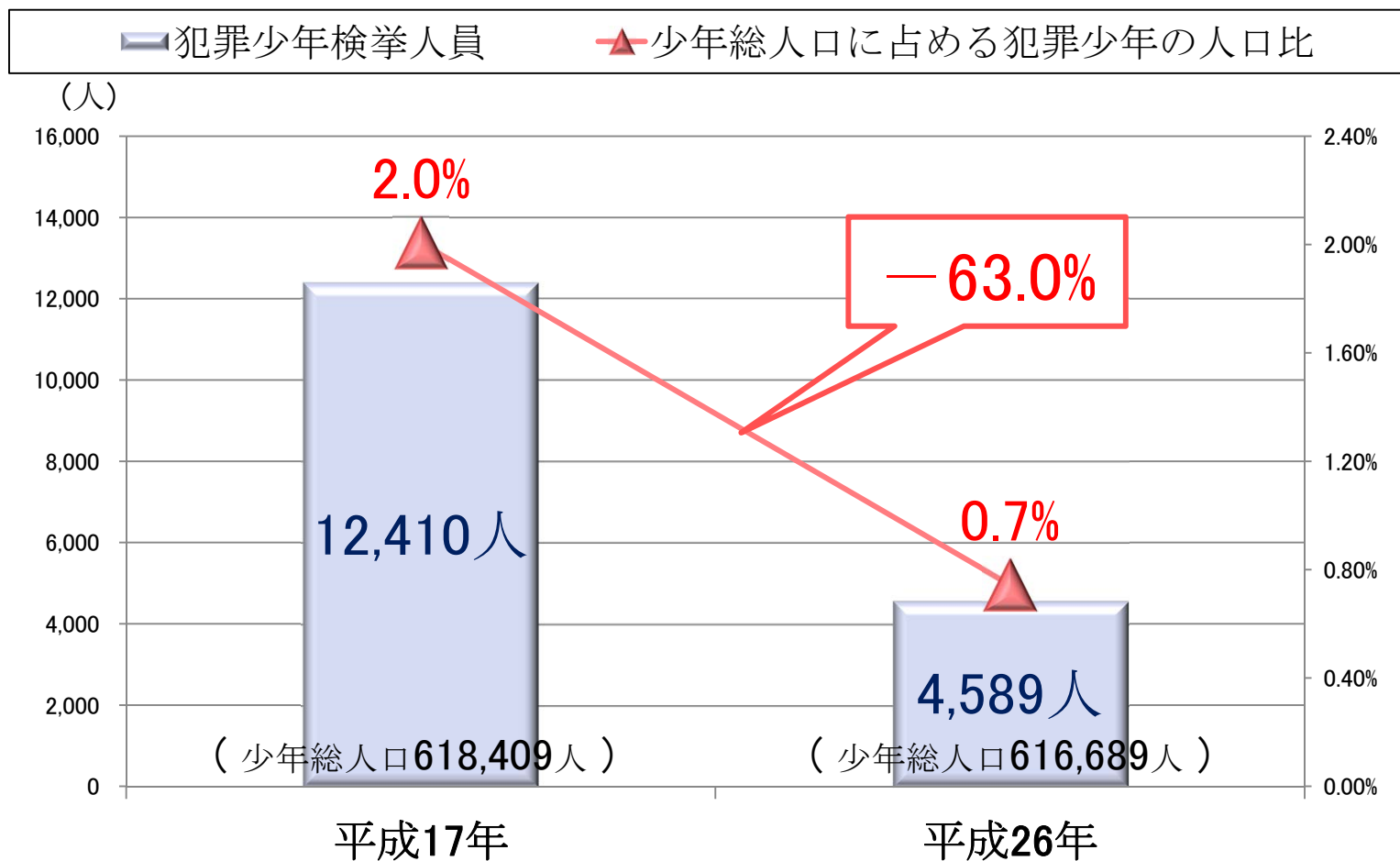


現在も「非行少年を生まない社会づくり」を推進中

④

少年事件の減少について

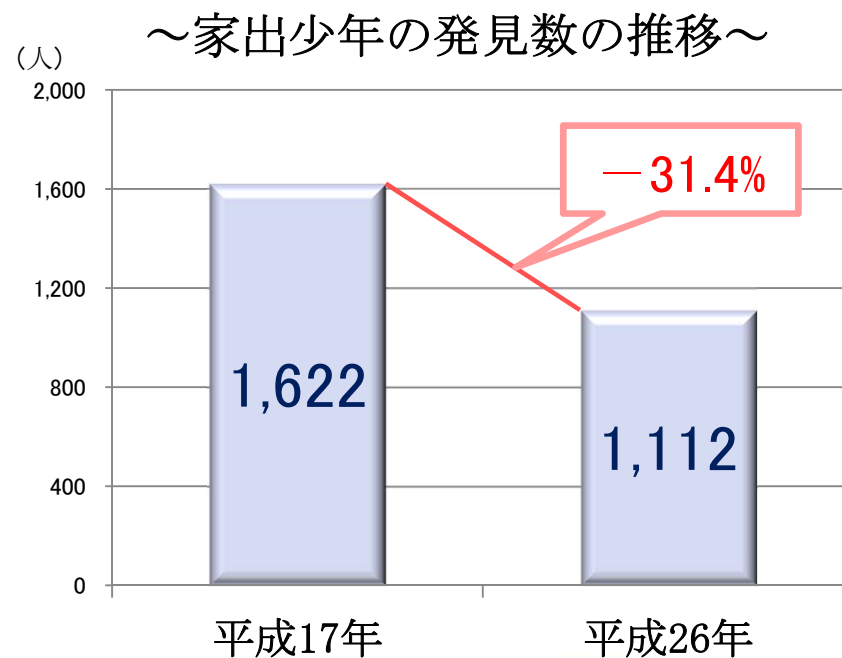
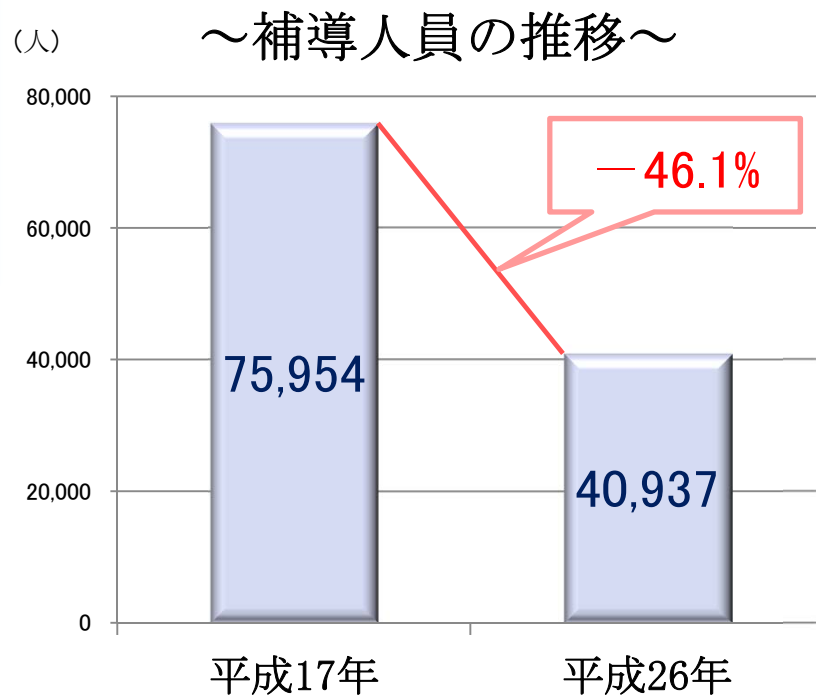
～少年総人口に占める犯罪少年の人口比～



※ 少年総人口は、東京都総務局統計部ホームページより

⑤ 少年事件の減少について

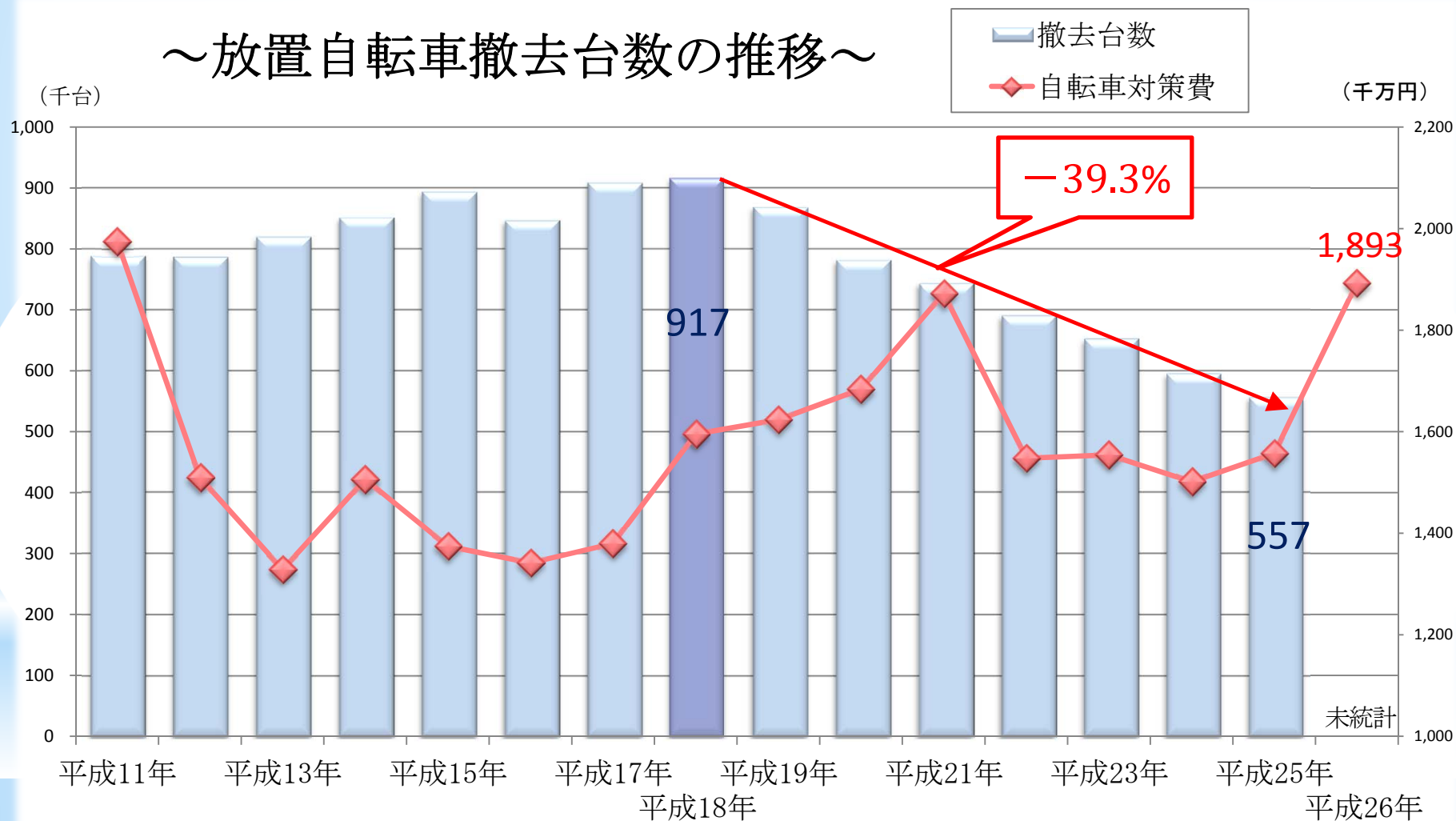
切り口① 規範意識の向上



⑥-1 少年事件の減少について

切り口②-1 環境浄化

～放置自転車撤去台数の推移～

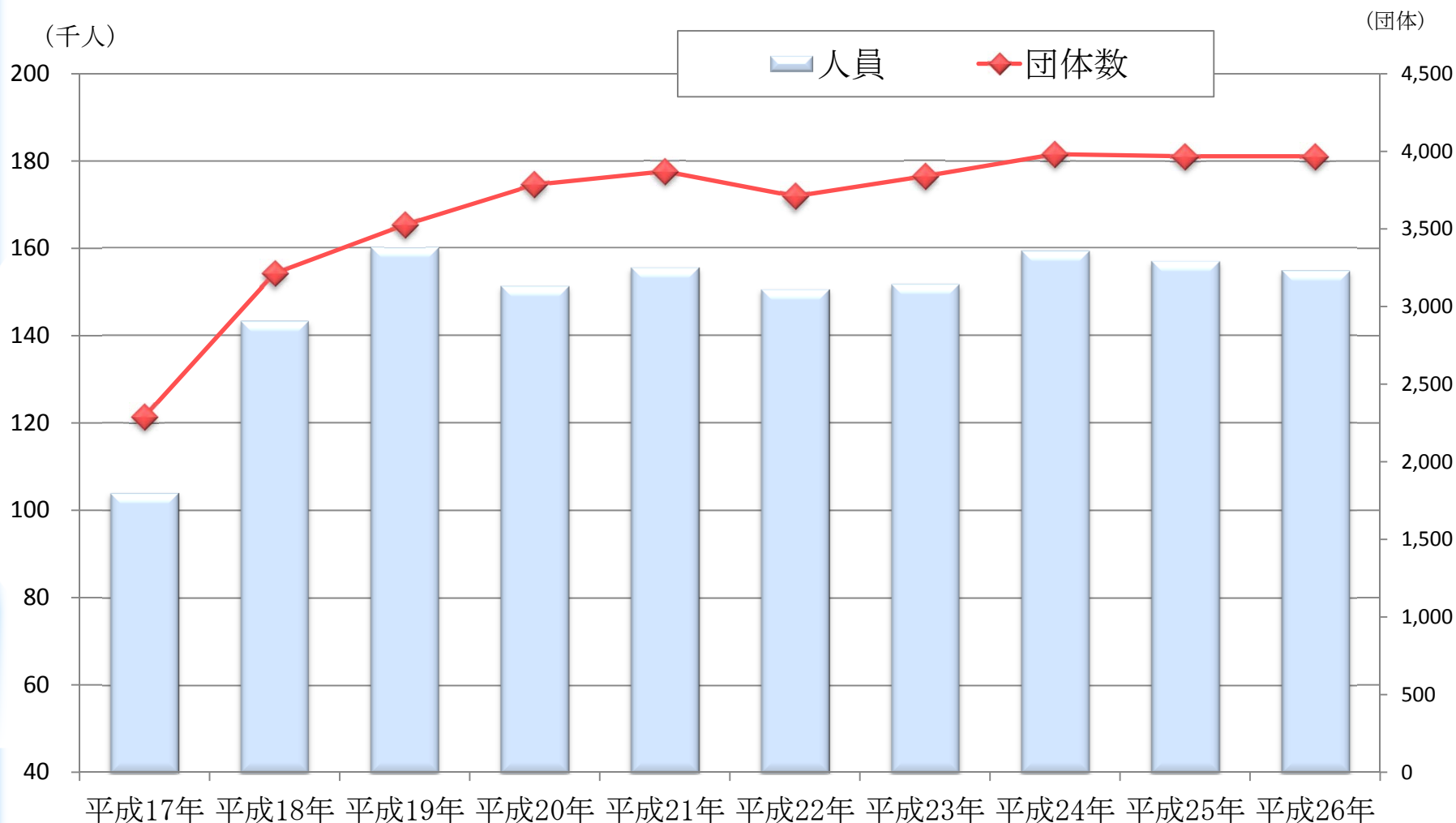


※ 東京都青少年・治安対策本部ホームページより

⑥-2 少年事件の減少について

切り口②-2 環境浄化

～防犯ボランティアの推移～



最近の少年事件の特徴

- 電子機器を用いた犯行
- 高度に隠密化した組織犯罪(特殊詐欺等)
- 成人と比較して高い共犯率



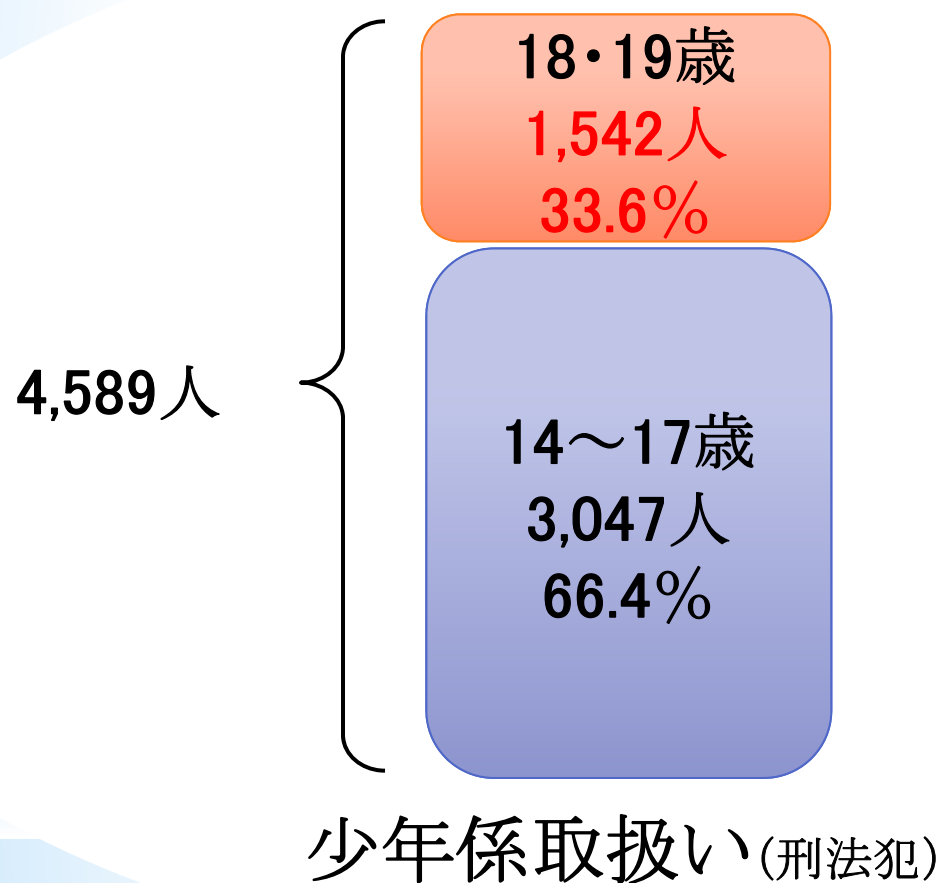
犯罪形態の変化に対応した捜査の推進

少年法適用対象年齢を 引き下げた場合の影響



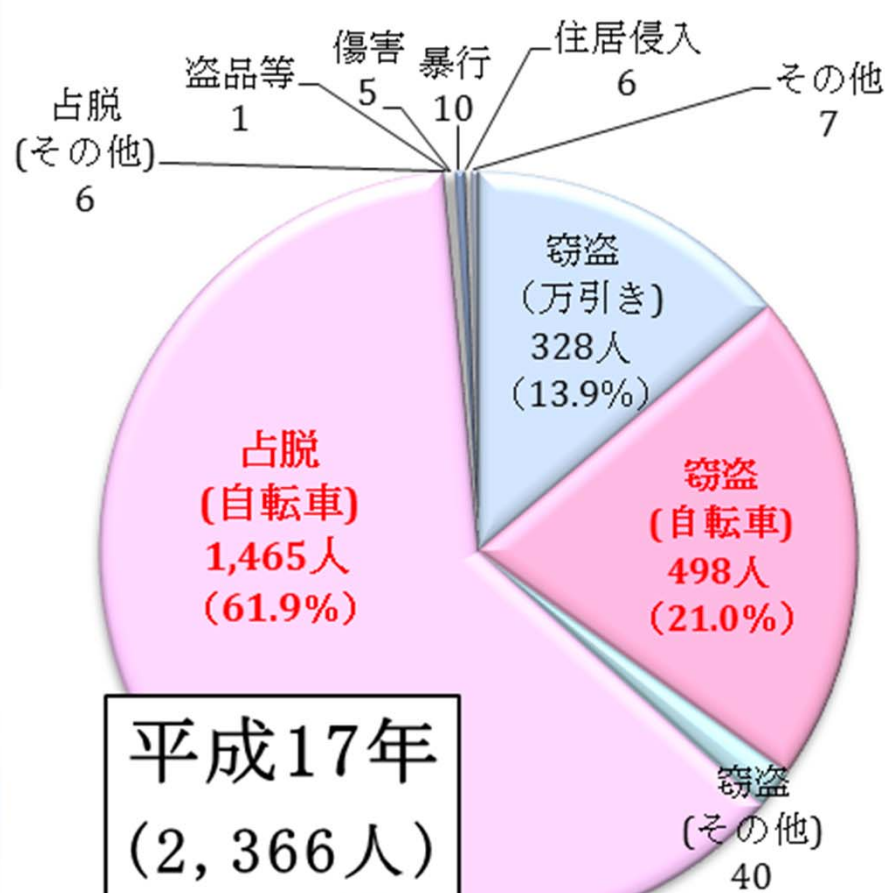
※ 総検挙人員の、4.7%が刑事部等へシフト

少年法適用対象年齢を 引き下げた場合の影響



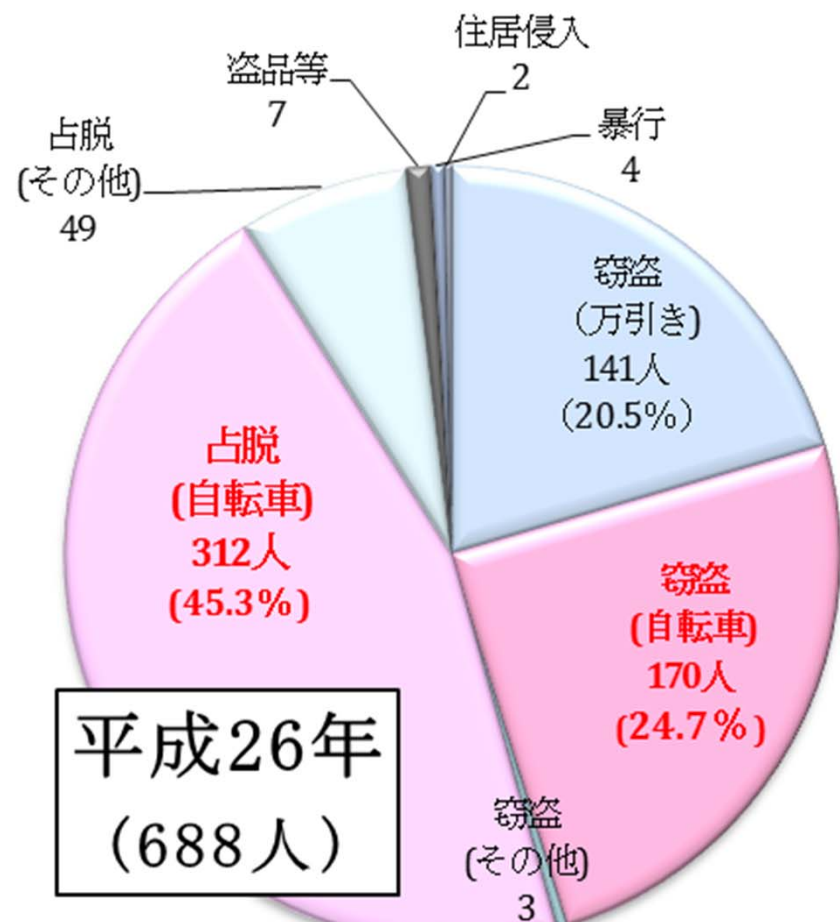
⑧ 簡易送致

～ 18・19歳 簡易送致罪種別 送致人員 ～



平成17年
(2,366人)

※少年簡易送致総人員
～6,529人

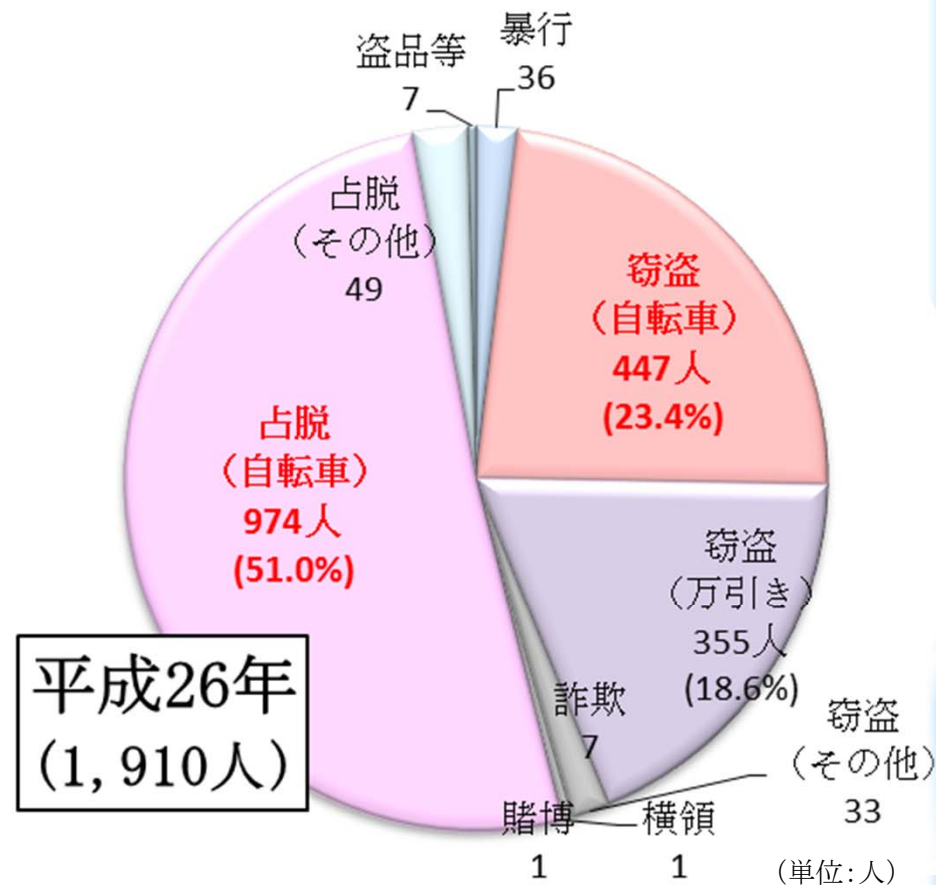
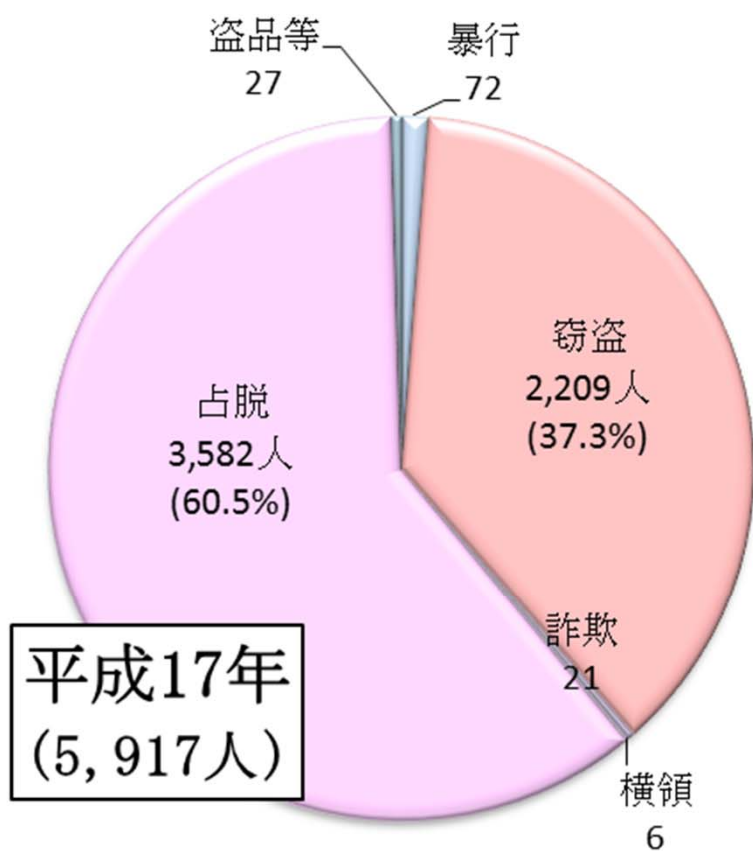


平成26年
(688人)

※少年簡易送致総人員
～1,888人 (単位:人)

⑨ 微罪処分(成人)の現状

～ 犯行時年齢 (20歳～25歳) 罪種別微罪処分 検挙人員～



18歳・19歳の少年に対する少年警察活動

- 18歳・19歳の少年の補導状況について
- サイバー補導活動について
- 立ち直り支援活動について

警視庁少年育成課

■ 少年の補導状況について

【補導対象】

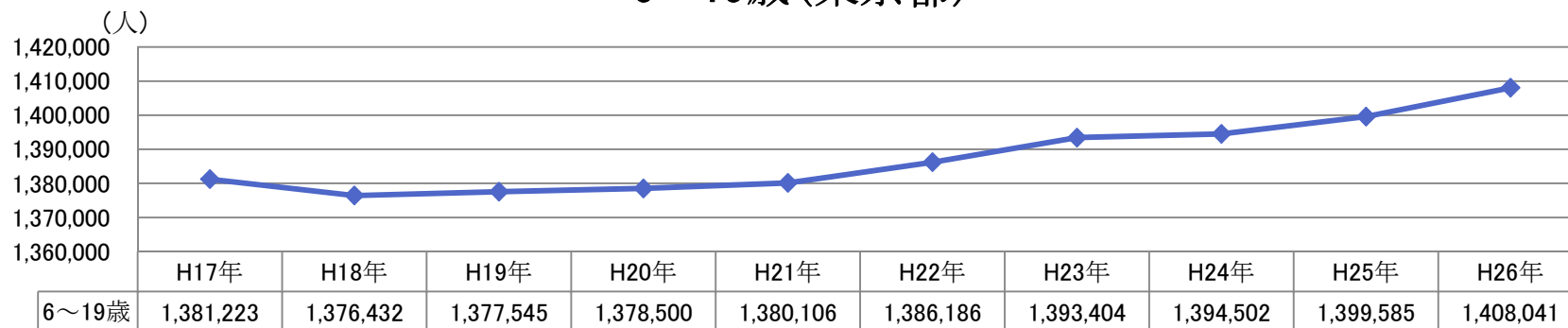
飲酒 喫煙 無断外泊 深夜はいかい

不健全性的行為 不健全娯楽

など

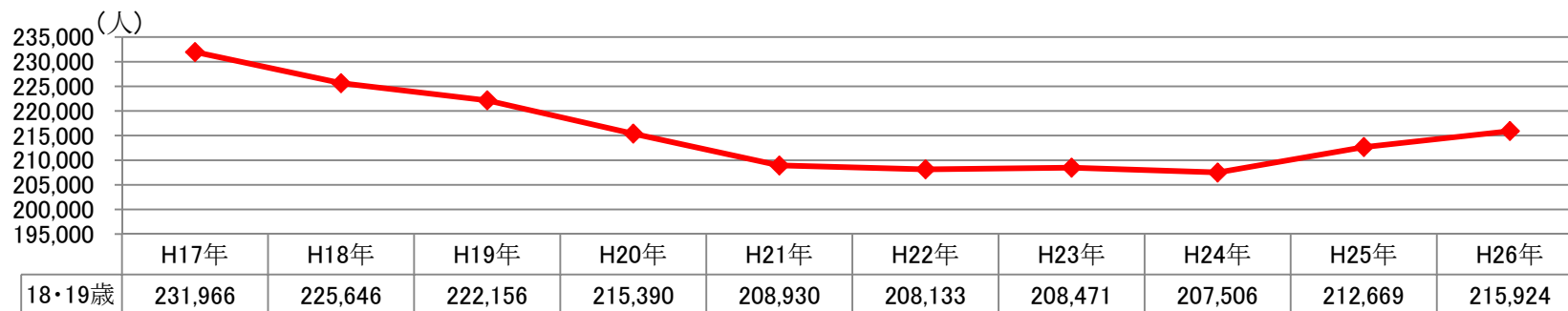
■ 少年人口の推移【東京都総務局】

6～19歳（東京都）



平成17年	1,381,223
平成26年	1,408,041
増加数	+26,818
増加率	+1.94%

18・19歳（東京都）

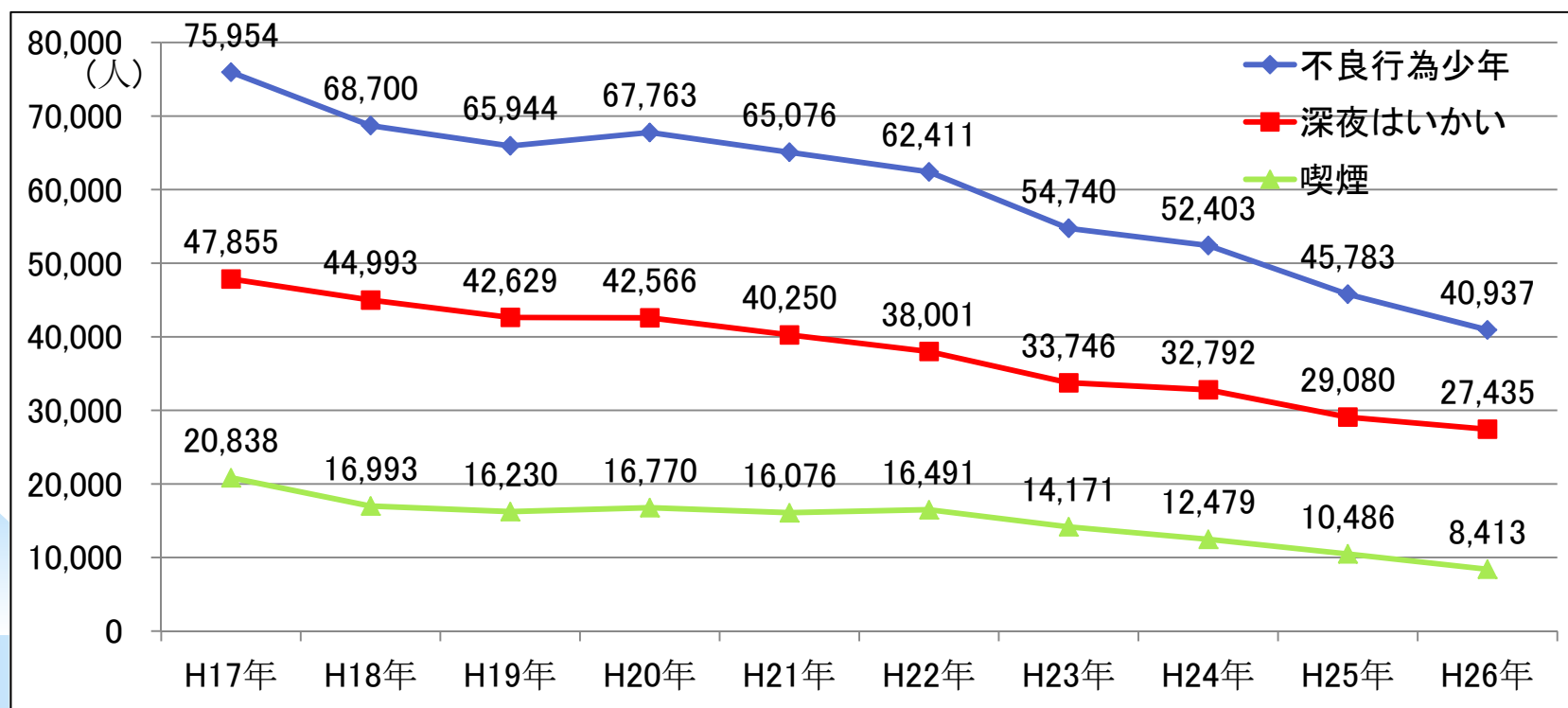


平成17年	231,966
平成26年	215,924
減少数	-16,042
減少率	-6.92%

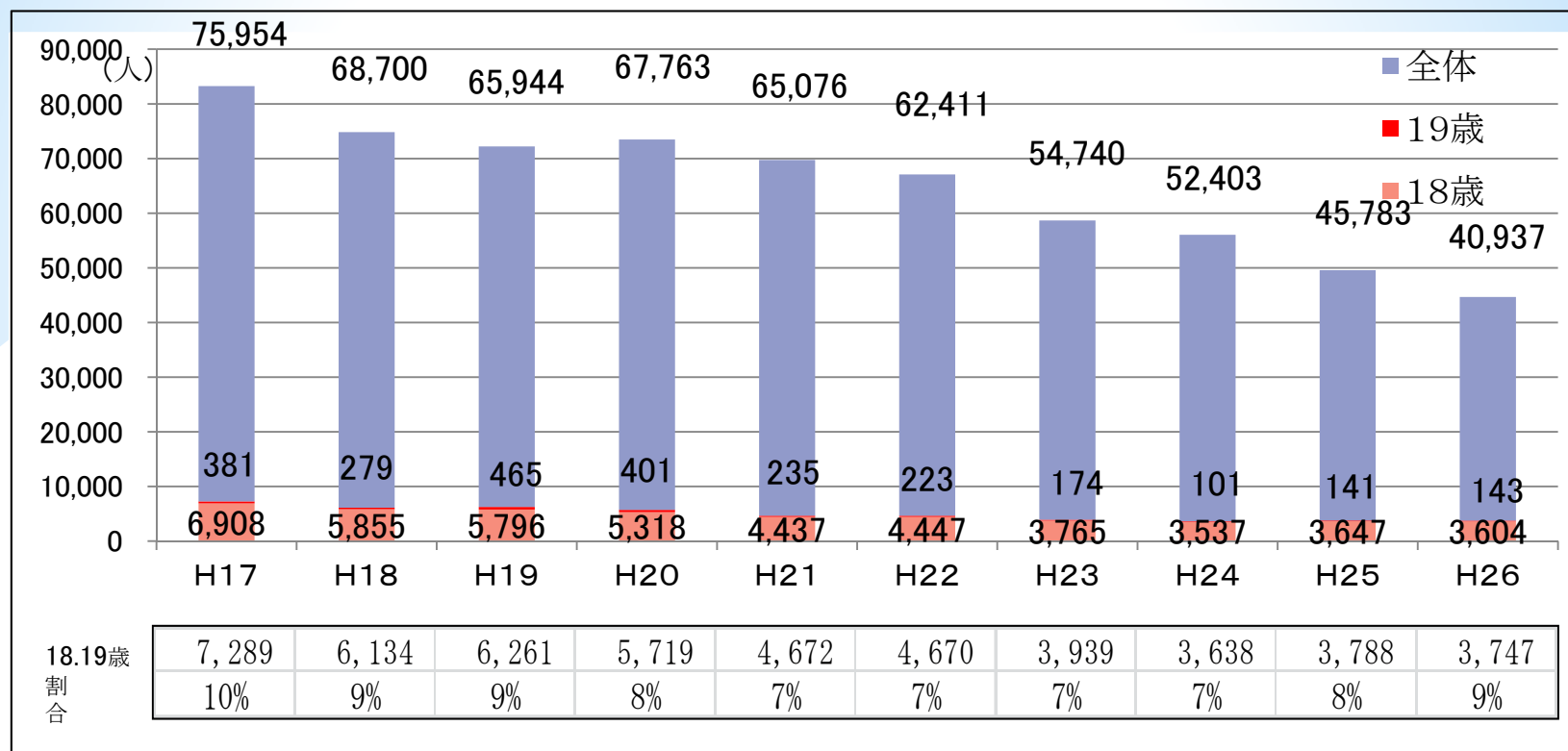
■ 不良行為少年が減少傾向にある要因

	不良行為少年	深夜はいかい	喫煙	その他
平成17年	75,954	47,855	20,838	7,261
平成26年	40,937	27,435	8,413	5,089
減少数	-35,017	-20,420	-12,425	-2,172
減少率	-46%	-43%	-60%	-30%

- 深夜はいかいの減少
 - ・ 店舗の入店規制の徹底
 - ・ スマートフォン等の普及
 - ・ 遊びの多様化
- 喫煙の減少
 - ・ 喫煙率の低下
 - ・ 価格の上昇、購入制限



■ 18歳・19歳の補導状況



【10年前との比較】

平成17年	7,289
平成26年	3,747
減少数	-3,542
減少率	-49%

■ 18歳・19歳の行為別補導状況

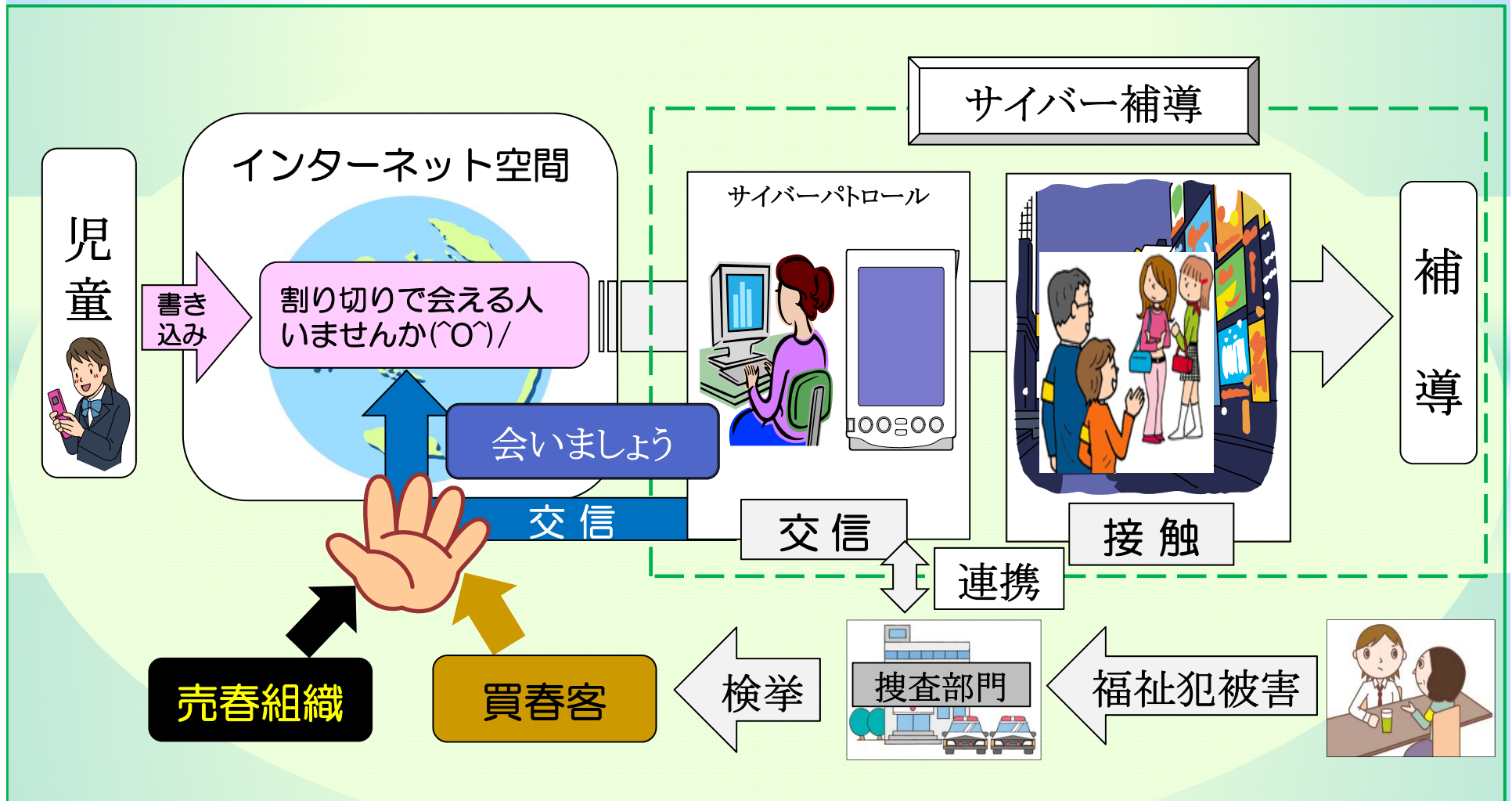
	飲酒	喫煙	薬物乱用	粗暴行為	刃物等所持	金品不正要求	金品持出し	性的いたづら	暴走行為	家出	無断外泊
25年	65	885	19	20	2	0	0	0	1	24	16
26年	66	854	10	9	3	0	0	0	1	24	12
26年割合	1.8%	22.8%	0.3%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.3%



深夜はいかい	怠学	不健全性的行為	不良交友	風営立入り	不健全娯楽	わいせつ図書	その他	指定行為	合計
2,665	51	34	0	0	6	0	0	0	3,788
2,640	88	29	0	0	11	0	0	0	3,747
70.5%	2.3%	0.8%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	



■ サイバー補導活動について



■ 立ち直り支援活動について

【立ち直り支援活動】

立ち直りに必要な連絡・面接による支援
就学・就労による支援
農業体験活動等、各種体験活動による支援

【対象少年】

◇ 支援対象少年

過去に非行少年として取扱いがあった少年で、保護者から警察による支援活動に係る同意があった少年。

◇ 継続補導少年

支援対象少年には該当しないが、連絡、面接及び各種体験活動等により指導、助言等継続的な支援の必要がある少年。

■ 立ち直り支援状況

《支援中の少年数》

平成27年9月末現在

	支援対象少年	継続補導少年	計	
18歳	32	36	68	102
19歳	9	25	34	
全体	162	291	453	
18・19歳割合	25%	21%	23%	

【就労支援】



【農業体験】



■ 適用対象年齢が引き下げられた場合の影響

補導や立ち直り支援に影響が生じてくる

- ▶ 高校生の同時補導で、取扱いが異なってくる
- ▶ これまで支援対象としていた18歳・19歳（高校生を含む）の立ち直り支援の機会がなくなる